

令和4年12月13日
教育環境課

世田谷区立弦巻中学校校舎棟改築基本構想について

1 主旨

世田谷区立弦巻中学校については、老朽化等の状況を踏まえ、昭和33年から36年に竣工している北側の校舎棟を中心に改築するとともに、認定こども園に用途転換する松丘幼稚園との複合化を図るものとして、令和元年度に改築基本構想を策定した。その後、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事務事業等の見直しにより検討を進めた結果、令和3年度に整備方針を変更して単独改築とすることとなり、令和4年度に世田谷区立弦巻中学校改築基本構想検討委員会にて検討を行った。

このたび、校舎棟改築基本構想がまとまったので、報告する。

2 基本構想の概要

(1) 校舎棟改築等の基本的な考え方

① 校舎棟改築と体育館棟及びプール棟の改修（棟別改築）

昭和33年～36年に竣工している北側の校舎棟は、施設の老朽化とともに日影規制の既存不適格の解消を図るため、改修によるバリアフリー化が困難な校舎棟（特別教室）とともに改築する。昭和53～58年に竣工している体育館棟とプール棟は、引き続き活用することとし、中・長期の周期的改修工事等と、ユニバーサルデザイン推進条例に基づく整備を実施する。

② 仮設校舎

北側への校庭の砂の飛散や活動音等、周辺の住環境の変化に配慮した結果、校舎棟は北側校舎の配置とするため、仮設校舎は南側に建設する。また、校庭の広さを確保するため、2階建てとする。

給食については、これまで改築工事期間中は太子堂調理場からの調達を基本としているが、本校を含めた今後の学校改築計画を踏まえると、令和8年度2学期には太子堂調理場の1日あたりの調理可能食数（約3,600食）を上回ることが予想される。

改築予定校には、敷地が狭隘で敷地内への仮設給食室の確保が困難な学校も想定されることから、先行して弦巻中学校に仮設給食室を設置し、令和7年度2学期から令和9年度1学期までの間、アレルギーへの対応が可能な自校調理により給食の提供を行う。なお、厨房機器一式は、既存給食室にあるものを移設し活用する。

③ 経費削減について

体育館棟及びプール棟を活用し、校舎全体に分散されている特別教室を各棟1階に集約し、最小限の工事で特別教室の再配置を行うとともに、併せて中・長期の周期的な改修工事を効率的に行う。また、図書室等の一部諸室は、転用工事が2回生じるが、1回目の転用工事で最終的な諸室の形態に近づけるなどの工夫を行うことで、仮設校舎に特別教室を配置する場合と比べ、最小限の経費で対応できる。

ア 特別教室の集約

改修前		改修後（令和6年度）	
場所	室名	場所	室名
校舎棟	家庭科室（調理）	体育館棟	家庭科室
校舎棟（特別教室）	家庭科室（被服）		
校舎棟（特別教室）	美術室（彫刻）	体育館棟	美術室
	美術室（絵画）		
体育館棟	技術室（木工）	体育館棟	技術室
	技術室（金工）		
プール棟	第一音楽室	体育館棟	音楽室
	第二音楽室		

イ 諸室形態の変化

改修前	改修後（令和6年度）	改修後（令和9年度）
パソコン教室	図書室	特別支援教室、PTA室ほか
ミーティング ルーム	教育相談室	ミーティングルーム
開放用更衣室	職員用更衣室	開放用更衣室、生徒用備蓄倉庫

④施設整備の発注方法

設計施工分離発注方式とする。

(2) 計画の概要

①敷地概要

所在地 世田谷区弦巻一丁目42番22号

敷地面積 15,640㎡

②建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地上3階建

延床面積 約8,476㎡（整備方針時：約8,400㎡）

建物（棟）		既存	既存小計	整備後
体育館棟		1,676㎡	3,226㎡	1,676㎡（存置）
プール棟		1,550㎡		1,550㎡（存置）
校舎棟	特別教室	514㎡	5,475㎡	約5,250㎡ （校庭の防災倉庫、器具庫含む。 2階デッキ部250㎡は除く） （整備方針時：約5,176㎡※）
	教室	4,961㎡		
延床面積合計			8,701㎡	約8,476㎡

※令和3年12月の整備方針時からの面積増加の要因について

整備方針時の最大クラス数は12クラスであったが、直近の入学率の上昇等により15クラスに変更となった。将来の35人学級も想定したうえで、普通教室を確保する。

③主要室構成

ア 改築後の新校舎棟

普通教室（15）、ワークスペース（3）、特別支援学級（5.5）、図書室、多目的スペース、給食諸室、管理諸室等

イ 防災倉庫

ウ 改修後の体育館棟及びプール棟

屋内運動場、格技室、プール諸室、特別教室（理科室（2）、家庭科室、美術室、音楽室、技術室）、特別支援教室（0.5）等

（3）計画の特色

①配置計画・動線計画

改築する校舎棟は、近隣の住環境の変化や、既存利用する体育館棟とプール棟への動線に配慮し、現在の校舎と同じ北側の配置とする。

校舎棟は、現在の4階建てから3階建てとし、東西の離隔距離を確保するなど周辺への圧迫感や日照・通風の影響に配慮した計画とする。

また、生徒の主な通学動線は西門を想定する。

②平面ゾーニング計画

ア 普通教室ゾーン

普通教室は、2～3階に学年毎のまとまりを確保し、また、各階にワークスペースを設け、多様な学習環境に対応が可能な計画とする。

特別支援学級は、動線や見守りに配慮するため、管理ゾーンと近接する1階に集約した配置とし、専用昇降口を設ける。

イ 管理ゾーン

管理諸室は、校庭の視認性など、管理運営に配慮し1階に集約した配置とする。

保健室は、外部からの出入りの確保や緊急車両の寄り付きが可能な校庭に面した配置とする。

主事室は、セキュリティーに配慮し職員・来客用昇降口に近接した配置とする。

ウ 特別教室ゾーン

特別教室は、図書室を除いて体育館棟とプール棟の1階に集約した配置とし、また、校舎棟の1階及び2階からの動線を確保した計画とする。

プールへの円滑な動線を確保するため、ユニバーサルデザイン推進条例に基づき、既存のプール棟にエレベータを設置する。

エ 地域開放

地域開放は、既存の屋内運動場、格技室、トレーニングルーム、和室、学校・地域会議室に加え、新たに特別教室（図書室等）及び多目的室等の活用を図るものとし、生徒・職員と利用者それぞれの動線、セキュリティーに配慮した計画とする。

(4) Z E B 対応

公共施設の Z E B 化については、今後策定する「公共建築物 Z E B 指針」を踏まえ計画していくため、現時点では個別施設の Z E B 対応について具体的な検討には至っていない。一方で、学校施設においては創エネ設備の代表である太陽光発電パネルを設置できる場所が限られているため、弦巻中学校については、建物の断熱化と高効率設備等で消費エネルギーの 50 パーセント削減を行う Z E B - Ready 水準相当を目指す方向で検討を進めていくこととする。

3 概算経費

(1) 概算事業費（設計費、建設工事費、解体工事費、仮設校舎設置費）

約 39.5 億円

〈内訳〉

設計費	： 約 2.3 億円
改築費	： 約 22.0 億円
既存校舎改修費	： 約 8.2 億円（注）
解体工事費	： 約 2.7 億円
仮設校舎経費	： 約 4.3 億円

（注）既存校舎改修費には、「公共施設（建物）の周期的改修・整備についての基本的な考え方」（公共施設等総合管理計画）に基づく、外部・内部大規模改修工事費が含まれる。また、一部諸室の 2 回目の転用工事は、別途約 0.1 億円を想定している。

※校庭整備・外構工事費、Z E B 化にかかる工事費及び設計費は、上記概算額に含まず。

※仮設校舎経費には、既存（存置）校舎の仮設利用に伴う改修費及び仮設校舎建設に伴う校庭整備・外構工事費は含まず。

※特定財源として、国庫補助事業（学校施設環境改善交付金）の活用を想定し、4.8 億円（解体 0.8 億円、改築 4.0 億円）を見込んでいる。

※経費については、基本設計でさらに精査していく。

(2) 施設維持管理費

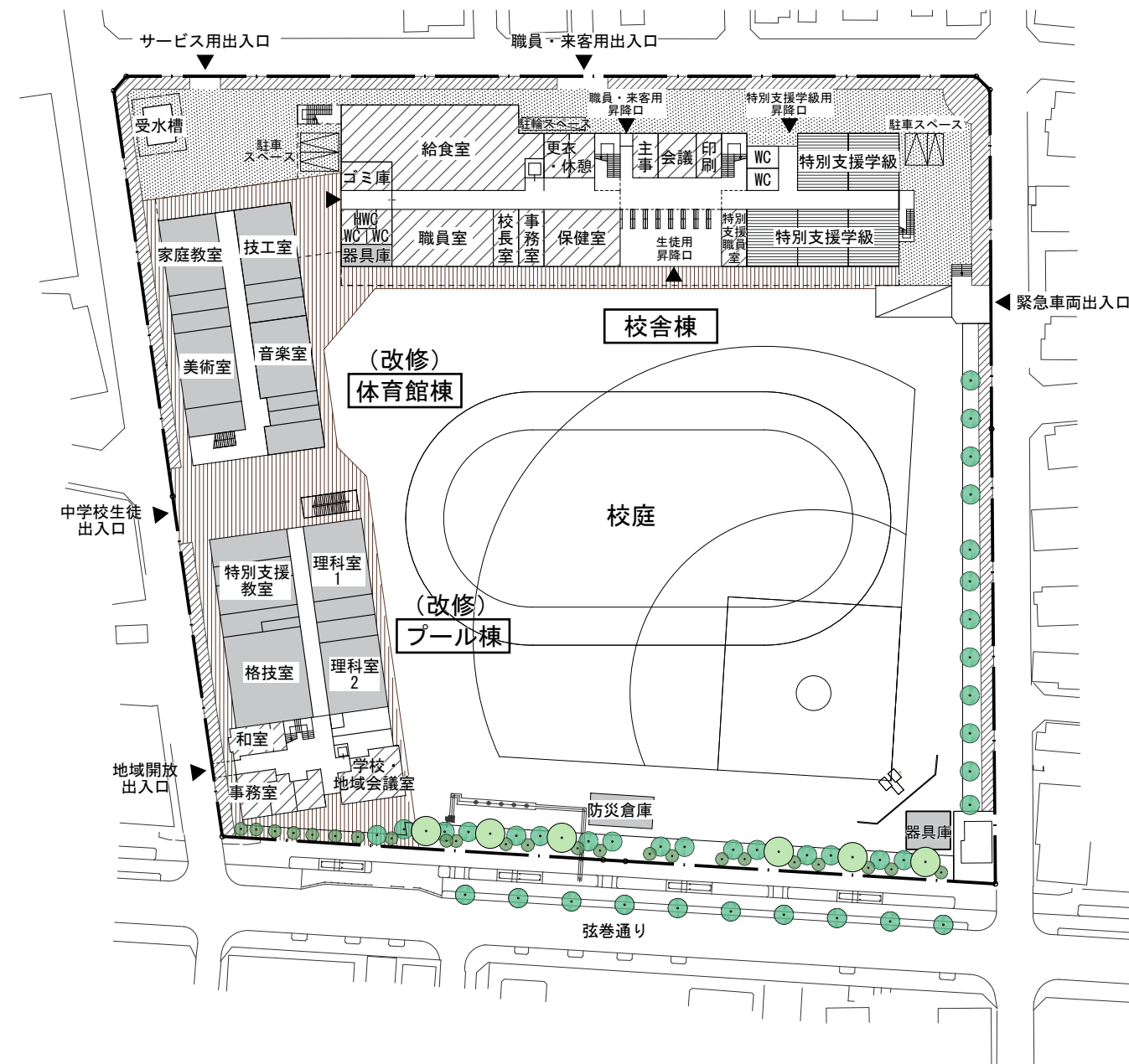
約 3.8 千万円/年

※学校教育施設（一部除く）の過去 2 ヶ年決算額の平均値（光熱水費、委託料、修繕費等）から試算

4 今後のスケジュール（予定）

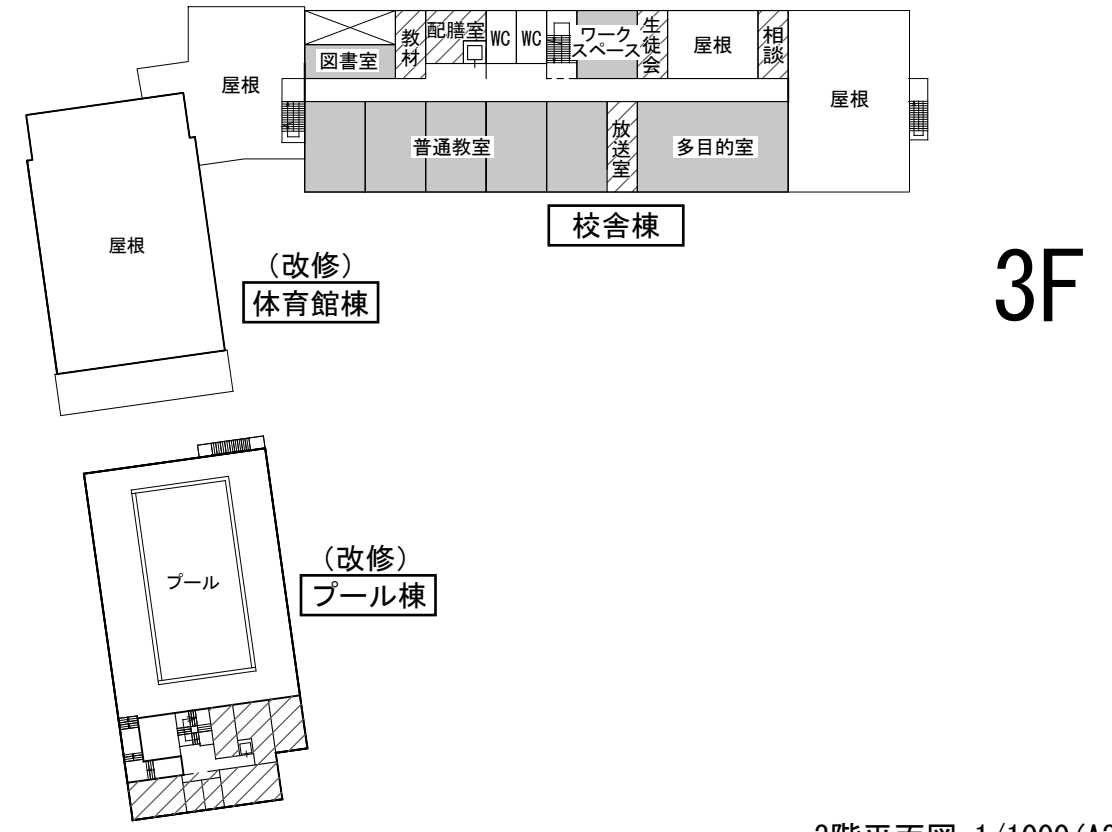
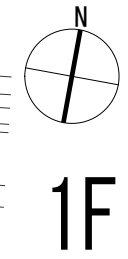
令和 4 年 12 月	文教常任委員会
令和 5 年 1 月	基本構想住民説明会
令和 4 年度～5 年度	基本設計
令和 6 年度	実施設計、内部改修工事、仮設校舎整備
令和 7 年度	仮設校舎整備、解体工事
令和 8 年度	改築工事、外壁・屋上等改修工事
令和 9 年度	改築工事、外構・校庭整備工事、内部改修工事 新校舎供用開始

ゾーニング・配置計画案

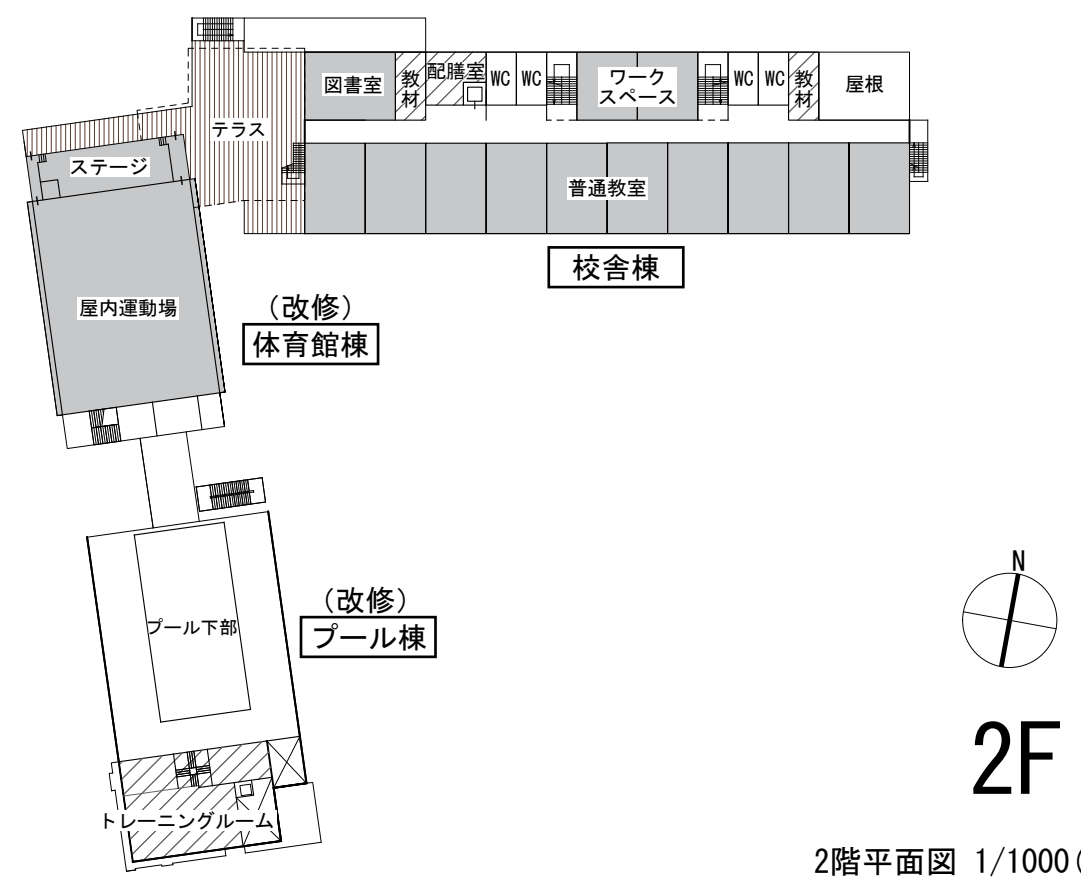


- 凡例
- 中学校 教室ゾーン
 - 中学校 管理ゾーン
 - 中学校 特別支援ゾーン

1階平面図 1/1000 (A3)
約1/1400 (A4)



3階平面図 1/1000 (A3)
約1/1400 (A4)



2階平面図 1/1000 (A3)
約1/1400 (A4)

